

環 境 報 告 書

2026 年 7 月報告

ふりがな	みゅーちゅあるふーどさーびす かぶしきがいしゃ		認定 ランク	★★
事業所名	ミューチュアルフードサービス株式会社			
認定部門	☐ ゼロカーボン推進部門 ☒ ごみ減量推進部門 ☒ エコ・コミュニティ部門			
概 要	所在地	松本市並柳 2-3-2		
	代表者名	金田 光浩		
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	簡易宿所 高齢者福祉事業（鍼灸マッサージ治療院） 児童発達支援（多機能型事業所）		

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	当社は、宿泊・児童福祉・高齢者福祉の提供を通じて、地域の皆様の命と暮らしに寄り添い、持続可能な社会の実現に貢献します。施設運営における省エネルギーの推進、廃棄物の削減、再生可能エネルギーの導入を具体的に進め、環境法令の遵守のもとで環境負荷の最小化に努めます。 社員への環境教育を徹底し、次世代を担う子どもたちや高齢者の皆様と共に環境意識を高める活動を展開します。自治体や地域社会との連携を軸に、事業活動と環境保全を両立させ、地域の福祉向上と豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ良きパートナーを目指します。
環境に関する取組目標	限られた人員でも確実に実行できるよう、日々の業務に組み込んだ目標を設定しています。 まず省エネルギーとして、各施設でのこまめな消灯や温度管理の徹底、LED 等への更新により電力消費を年 3%削減します。（中部電力カテエネサイトで具体的な数値をチェック）さらに再エネ導入プランを精査します。次に資源有効活用として、施設内の環境法令遵守を徹底し、宿泊で生じる生ゴミの減量、消耗品の分別リサイクルを定着させ廃棄物を削減します。宿泊ゲストへの啓蒙活動も兼ねて行います。 最後に環境意識向上として、少人数ならではの密なコミュニケーションで環境教育を浸透させます。
具体的な取組内容	少人数の利点を活かした迅速な意思決定と全員の連携により、以下の取り

	組みを既に実施し、継続しています。 1. 省エネルギーおよび再生可能エネルギーの導入実績 - 施設の LED 化：宿泊施設および福祉施設の共用部や居室において、計画的に照明の 100%LED 化を完了させました。 - 徹底した運用管理：スタッフによる見回りをルーティン化し、空室・不在時のこまめな消灯、エアコンの適切な温度管理（夏季 28 度、冬季 20 度）を徹底して運用しています。 2. 廃棄物削減と資源の有効活用の実践（環境法令の遵守） - フードロスの削減：宿泊ゲスト（インバウンド）への啓蒙活動 - 分別リサイクルの定着：施設内におけるゴミの分別（プラスチック、紙、生ゴミ等）を徹底し、環境法令に基づいた適正処理と資源のリサイクル化を日常化しています。 - ペーパーレス化の推進：日誌や連絡帳など、各種業務書類のデジタル化を既に進め、紙の使用量を削減しています。 3. 社員教育と地域社会・福祉現場での連携実績 - 少人数での意識共有：定期ミーティングや朝礼を活用し、全社員で環境対策の進捗や課題を共有。全員が一体となった迅速な改善体制を構築しています。 - 地域連携活動：施設周辺の定期的なゴミ拾いや美化活動を既に実施しています。地域に根差した環境意識の向上に貢献しています。
実施結果（成果）	一連の環境活動を通じて、当社の組織力と地域における福祉の価値は大きく向上しました。 まず社内においては、少人数ゆえに全社員が当事者意識を強く持ち、日々の消灯や分別、ペーパーレス化が「当たり前の習慣」として定着しました。これにより、スタッフ一人ひとりの環境意識（グリーンマインド）と業務効率への視点が養われ、自律的に動く強固な組織へと成長しています。 「環境・福祉・地域」を一体として捉え、持続可能な社会に自発的に貢献できる企業体へと、私たちは確かな成長を遂げています。
課題・問題点と その改善に向けた取組み	これまでの活動を通じ、少人数での意識共有には成功したものの、「客室や福祉の居室における利用者様の自主的な協力の促し方」に新たな課題が見えてきました。 この改善に向け、現在は宿泊客や施設の利用者様に無理なく楽しくご協力いただけるよう、視覚的な案内ポップ設置の導入を始めています。また、スタッフ間では業務負担を増やさないよう、効率的なチェック体制のデジタル化をさらに進めています。 出た課題に全員で即座に向き合い、福祉の質を落とさずに環境負荷を減らす仕組みづくりへ、現在も進行形で挑戦を続けています。
その他、	当社は 2019 年に景観賞を受賞した際、その佇まいから寸評にて「地域の

アピールポイント等	清涼剤の役割」を果たしているとの高い評価をいただきました。この誇りを胸に、宿泊施設を拠点とした美しい街並みの維持と、地域コミュニティに潤いをもたらす活動を継続しています。 具体的には、宿泊事業で培った高い美意識とおもてなしの精神を活かし、敷地内の緑化や周辺の美化活動を徹底しています。さらに、このノウハウを児童・高齢者福祉の現場にも展開し、すべての施設で地域の方々が心地よく集える、清潔で開かれた空間づくりを標準化しました。 また、宿泊施設では観光客と地域住民が自然に交わる温かい環境を提供しています。単なる宿泊・福祉の提供に留まらず、街の魅力を高める「清涼剤」として、自治体が目指す美しい街づくりに日々貢献し続けています。
------------------	---